

読むと中立のまちが♡好き♡になる

ちゅうりつがっく

中立学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における
学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



中立学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、中立住民福祉協議会 上林 研二 会長・藤原 信生 会長代理に、
コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



ラー発電を計画中です。「環境はみんなで作れる」ということを伝えたいですね。

これからの時代に大切なことは、「中立学区のみんなが参加できること」と「これからの中立学区を考えること」。そこで、「高齢の方」中心に行ってきた活動の多くを、誰一人取り残さない「多世代」の活動にできないか考えたい。そのために、中立住民福祉協議会は「令和の規則改正」を行いました。この中で、「居住者はすべからく平等であること」「意見が対立した時、議長はどちらかを選択するのではなく再協議によって互いに歩み寄る案を提示する役割を担うこと」を明文化しました。先人が「中立」を学区名としたその意志を、わたしたちは再確認しました。

◎コロナ禍中のまちづくり活動について

介護予防の活動・健康すこやか学級「やわらぎの園」や「和い輪いカフェ」を、3密を避け感染予防対策を行ったうえで昨年6月から再開しました。参加者の方々からは「顔見知りになると安心できる」などの意見が寄せられ、大変喜んでいただいています。スタッフである各種団体の方・中立福祉委員会ボランティアの方・悠久クラブの方には精力的に活動していただいています。

コロナ禍の行事については、これからも「まずできる形を検討して、やむを得ない場合は中止する」という形をとっていきたいです。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

コロナ禍で、不安を感じていらっしゃる方もたくさんいらっしゃると思います。ならば、令和2年度は「勉強の一年、体力を付ける一年」にしたい。しっかりと準備をして、令和3年度には花を咲かせられるようにしたいですね。

昨年5月、ごみ減量推進会議を解散し、中立エコ生活推進会議を設置しました。「ごみ減量」に限らず、広くエコに関する取組を実践したいです。最近講師を呼んで勉強会を開催し、理解者を増やす取り組みをしています。

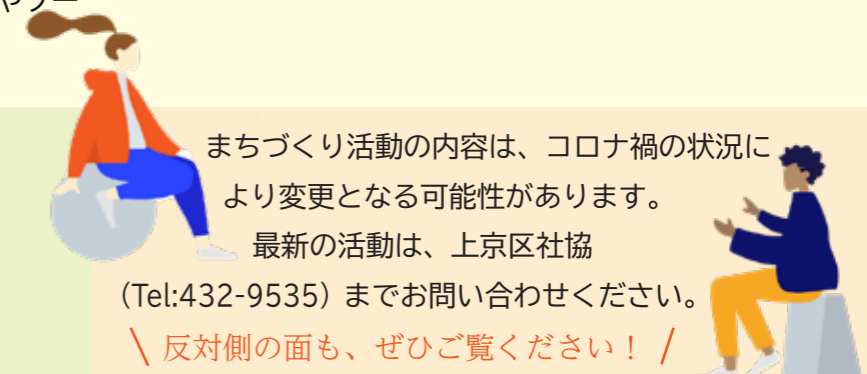
環境問題については、これからの時代を担う子どもたちへの働きかけが重要だと考えています。小学4年生の環境学習では、堀川にホテルを飛ばす取り組みを行っています。また、小学5・6年生の環境学習では、堀川の落ち葉での堆肥づくりやソー

また、中立会館の活性化にも取り組んでいます。令和元年度は掲示板を設置しました。「地域が一つになっている」というイメージを、住民のみなさんに感じていただけたらと思っています。

大災害が突然やってくる今の時代、自助も大事ですがお隣の良い関係は必要不可欠で、いわば「近助も共助の基本」とするのが「中立方式」です。みんなで「顔の見える関係」になって、お互いに気づかいあい支えあって、「みんなが主役」の中立学区を目指したいですね。



中立学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。
最新の活動は、上京区社協
(Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！